



維新の党



椎名つよし通信

日本の未来をつくる!

衆議院議員 比例南関東ブロック
神奈川県第9区(多摩区、麻生区)

桐蔭学園卒

元国会事故調 弁護士



プロフィール

- 1975年 東京都八王子市にて出生
 - 1994年 桐蔭学園高等学校理科卒業
 - 1999年 司法試験合格
 - 2000年 東京大学法学部卒業(法学士)
 - 2002年-11年 弁護士として長島・大野・常松法律事務所(6年間)などの法律事務所に在籍
 - 2011年 ロンドン・スクール・オブ・エコノミクス及びコロンビア大学国際・公共政策大学院修了(公共経営学修士)
 - 2011年-12年 (株)経営共創基盤勤務(同社から転籍し国会事故調にて原発事故調査に従事)
 - 2012年 衆議院議員初当選
 - 2013年 結いの党設立に参画
 - 2014年 維新の党設立に参画
- 現在、麻生区百合丘在住(家族:妻)

所属する委員会

経済産業委員会委員 原子力問題調査特別委員会理事
裁判官弾劾裁判所裁判員



突風のように吹き荒れる解散風

本年9月21日、私が所属していた結いの党は日本維新の会と合流し、維新の党として新たにスタート致しました。

維新の党は、自治・分権、自立、民権を基本理念とし、中央集権型官僚主導国家から、自立した国家、自立した地域、自立した個人により構成される自由で多様な社会を構築することを理想としています。代表に結いの党から江田憲司衆議院議員と日本維新の会から橋下徹大阪市長が共同して就任しました。根本的課題解決に取り組む行動する真の改革政党です。既得権団体から支持を受ける自民党・民主党にできない国民本位の本気の改革を実現するために創設されました。

本年9月29日に召集された第187国会は、維新の党の真価が問われる国会のはずでした。しかし、冒頭から、政治資金スキャンダルにより大臣2人が同時に辞任する大荒れの事態となりました。

その後も、経済産業委員会では審議日程が突然キャンセルになったり、厚生労働委員会では全野党が欠席する中、総理入りの審議が空転したりするなど、国会日程は正常化しませんでした。これぞ国民不在の政治。重要な法案の審議や行政に対するチェックを行う一般質疑が十分に行われませんでした。特に、労働組合の支援を受ける民主党が、重要法案である労働者派遣法を廃案に追い込むため、強硬に政治資金スキャンダルの追及をし、日程闘争を主導してきました。政局ばかりで政策議論が充実しない状況でした。

椎名つよしは、政局主導の国会の中で、孤軍奮闘、消費税増税の凍結を求める経済政策の議論、中小企業振興策、原発再稼働慎重論、太陽光発電の接続問題、エボラ出血熱などの感染症危機管理



国会活動量神奈川No.1! (国会質問76回、議員立法主導5本)

椎名つよしは、国会活動を監視するNPO「万年野党」(会長:田原総一郎氏)が発行する『国会議員三ツ星データブック』で、初当選以来3国会連続で「2ツ星議員」に選ばれるなど、神奈川県内No.1の活躍を致しました。特に、質問時間・質問回数については、3国会連続で神奈川県内No.1と評価されています。



また、議員立法については、5本の提出に携わり、そのうち「成年被後見人の選挙権回復の公選法改正」、「児童ポルノ禁止法改正」を主導して成立に導きました。

(右は、6月17日参議院における児童ポルノ禁止法改正案に対して、提案者として質疑に答えた答弁の写真です。)

椎名つよし 2年間の国会活動概要

会議名	回数	種別	主な内容
本会議	2回	代表質問、法案審議	非常事態法制のあり方、地方自治制度改革(地方交付税改革など)
予算委(分科会含む)	5回	予算審議、一般質疑	安倍政権の外交戦略、サイバー攻撃対策、原発再稼働を慎重にする制度設計、消防団の役割など(NHKテレビ入りの審議もあり)
法務委	35回	法案審議等	海外からの投資促進(会社法改正議論)、労働法制改革、労働政策としての外国人受け入れ問題、社会的養護・児童ポルノ問題などの児童虐待防止
経済産業委	4回	法案審議等	産業競争力強化政策、中小企業振興策、景気の動向と消費税増税について、太陽光発電の接続保留問題、原発再稼働問題、使用済み核燃料最終処分など
災害特委	8回	法案審議等	危機管理法のあり方、首都直下型・南海トラフ地震対策、大雪被害対策、御嶽山噴火、広島土砂災害など
原子力特委	12回	一般質疑、参考人等	原子力規制のあり方、福島第一原発事故収束作業の検証、原発再稼働と住民理解、原子力防災、テロ対策など
その他	10回	一般質疑等	集団的自衛権、憲法改正手続き法改正、日本版クラスアクションの日本経済への悪影響について、特定秘密保護法、社会的養護など

国会質問 76回、質問時間のべ 35時間 56分、法案答弁 2回、議員立法主導 5本、うち成立 2本

国会活動の詳細リストは、ホームページに掲載しています (http://t-417.jp/?page_id=1228)。是非ご覧ください。

★椎名つよしを再び国政の場で活動させていただきたく力を結集いただきたく「椎名つよし事務所開き」「国政報告座談会」を開催いたします。是非ともお誘いあわせの上、お越しく下さい。

事務所開きのご案内

日時: 11月29日(土)13時より(雨天決行)
場所: 椎名つよし事務所(多摩区宿河原2-46-19)
電話: 044-933-8163
会費: 無料

ゲスト: 維新の党共同代表 江田憲司
※都合によりゲストが変更になることもあります。予めご了承下さい。



国政報告座談会のご案内

日時: 11月30日(日)18時より(雨天決行)
場所: 椎名つよし事務所(多摩区宿河原2-46-19)
電話: 044-933-8163
会費: 無料

ゲスト: 神奈川県議会議員(麻生区選出) 相原高広

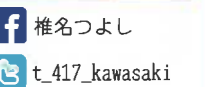


川崎事務所 神奈川県川崎市多摩区宿河原2-46-19
TEL044-933-8163 FAX044-299-8615
国会事務所 東京都千代田区永田町2-1-2 衆議院第二会館602号室
TEL03-3508-7602 FAX03-3508-3982

email info@t-417.jp

<http://t-417.jp>

椎名つよし 検索



2012年総選挙時に掲げた椎名つよしの基本政策

個別的課題解決策	原発のみに頼らない新エネルギー政策 ・電力自由化により、原発を市場から淘汰 ・国際標準の原発安全規制 ・再生可能エネルギーへの投資 ・スマートグリッドの導入による電力需給調整などスマートシティ実現	復興政策・放射性物質対策 ・安全を確保した事故収束 ・早期復興策実施 ・地域における雇用の確保 ・コミュニティ再生 ・住民の選択権を認める除染 ・放射性物質の恐怖からの子供の保護	経済成長戦略 ・デフレ脱却 ・年率4%の名目成長による雇用・所得の増大 ・規制緩和 ・アジア市場の取り込みによる内需拡大
	根本的課題解決策 小さな政府の実現 行政支出・議員歳費削減、公共サービス民間開放、独立行政法人の廃止・民営化 地域主権の採用を柱とする新しい制度設計 地方自治体への権限・財源などの委譲、国会による内閣の監視、参議院改革		

2012-2014年に実際取り組んだ活動（国会質疑、議員立法、議員連盟、政策提言、視察など）

個別的課題解決策	原発再稼働慎重論 将来の原発ゼロ 新エネルギーの拡充 ・国会質疑での原発再稼働慎重論の提言 ・国会質疑での新規基準の内容精査（川内原発の火山対策、基準のあり方等について） ・太陽光発電を推進するための接続保留問題に関する議員立法 ・地熱発電や再生エネルギー関連の超党派議員連盟参加	復興政策・放射性物質対策 ・国会質疑での福島事故収束への数々の提言 ・4回の福島第一原発への視察 ・国会質疑での福島から避難した住民への賠償に対する免税の提言 ・超党派の子ども被災者議員連盟の役員に就任し、多くの提言	経済成長戦略 ・海外からの投資呼び込みのための会社法制の整備 ・成長実現のための産業競争力強化法の修正論議 ・日本版クラスアクションのビジネスへの影響を検証 ・中小企業振興策の見直し議論 ・多様な働き方を認める労働法制の見直し議論 ・外国人労働者受入れ議論
	外交・安全保障・危機管理政策 NEW! ・集団的自衛権に関する新しい政府見解の検証 ・竹島の日式典への参加、予算委員会での提言など領土問題への取組 ・安倍政権の外交戦略の検証議論 ・特定秘密保護法の慎重審議 ・災害対策、感染症対策、サイバーテロなど危機管理法制の整備提言	児童福祉 NEW! ・子どもの連れ去り防止 ・里親委託推進と特別養子縁組活用施策提言 ・性的虐待から児童を守る児童ポルノ禁止法の企画立案	
根本的課題解決策	小さな政府の実現 結いの党の内政部門の政策責任者として、党内での行政改革・独法改革政策の立案 地域主権の採用を柱とする新しい制度設計 地方交付税制度や地方税のあり方の見直し提言、政令指定都市内分権の拡充提言		

「本気の改革、道半ば」
 椎名つよしには、やり残したことがたくさんあります。
 原発エネルギー政策、復興政策、規制改革、行政改革、地方分権改革。これからも本気の改革に取り組みます。

といった重要な政策論議を行ってききました。また、同僚で同じ経済産業委員会に所属する小池政就議員と共に、政局よりも政策というモットーを体現すべく、**太陽光発電の接続保留問題の解決のための議員立法を提出**しました。

しかし、突如として、官邸から突風のように解散風が吹き荒れてきました。

11月17日に発表された本年7～9月期の国内総生産（GDP）の速報値が2期連続マイナス成長（前期比0.4%減）ということも理由に、来年10月に予定される消費税の10%への増税を延期し、衆議院を解散すると言われています。しかし、増税を結ぶのであれば、既に維新の党が共同提案した消費税増税凍結法案を国会で議論すれば足りるはずですが。三党合意で消費税増税を主導したはずの民主党すら凍結を了承する中で、増税凍結は争点でなくなっています。このような争点も大義もない無責任な解散は許すべきではありません。

本質的には、政治資金スキャンダルにより2人の大臣が辞任した事により政権が弱体化したところ、増税により経済運営に停滞がもたらされたことを包み隠したい解散です。まさに、党利党略、自己保身のための解散、国民不在の政局解散です。

もし本当に解散となれば、私は、引き続き国民主導による日本の未来をつくる政治を実現するため、断固として戦います。

椎名つよしの本気の改革は、道半ばです。引き続き、椎名つよしの活動に対して、ご指導、ご支援の程を賜りたく、よろしくお願いいたします。

椎名つよしの2年間の軌跡



平成24年12月選挙戦
自転車にて、皆様に挨拶まわり



初登壇



六ヶ所村再処理施設視察



経済産業委員会福島第一原発視察



議員立法提出



平成25年5月9日 初登壇



法務委員会米国司法制度視察



豪雨災害視察（滋賀県）



予算委員会質疑



多摩区祭り



麻生区公園清掃



麻生区で



老人会ゲートボール



多摩区盆踊り

椎名つよしは
全力で走ります